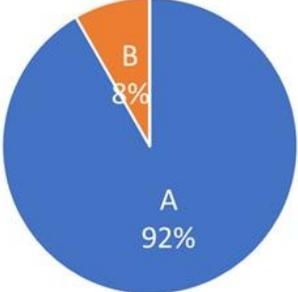
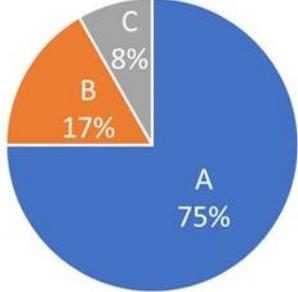
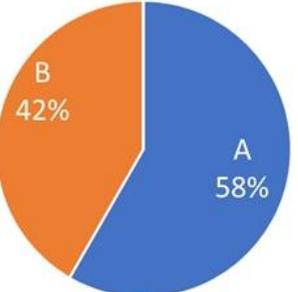
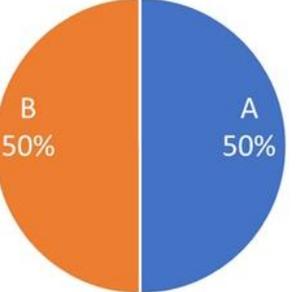


	1明るく元気な地域づくり	2安全で安心な地域づくり	3健康で豊かな地域づくり	4相談しやすい体制づくり
今年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・移動支援実施、ボランティア懇談会 ・地域お手伝い隊会議、実施 ・サツマイモほり ・クリスマスお楽しみ会 ・鯉のぼり、凧、ハロウィン、イルミネーション、繭玉飾りつけ設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・歳末見守り事業打ち合わせ、訪問 ・子どもの居場所サードプレイス ・子どもの居場所(だんだん・嶋岡) ・下校見守り ・小中合同防災訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・各茶の間活動 ・山遊山ハイキング、知学ウォーク 他 各種スポーツ教室 ・だんだん・嶋岡(モデルハウス) ・地域の茶の間(まちセン、各町内) ・ほっとカフェ、まちセンマルシェ ・ひな・町屋めぐり 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミ協だより、まちセン通信の発行 ・地域福祉懇談会
活動の様子	<p>移動支援事業</p> 	<p>子どもの居場所サードプレイス</p> 	<p>だんだん・嶋岡 (モデルハウス)</p> 	<p>地域福祉懇談会</p> 
取組んでみての課題	<p>(移動支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局体制が十分に整っていない。 ・専属のコーディネーターが不在である。 <p>(地域お手伝い隊会議、実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お手伝い隊では草刈りを行っている。 ・活動者が70代以上ばかりであり、新しい協力者が増えない。 <p>→チラシ等を作成し取り組みを目立たせることで、協力者を増やしたい</p>	<p>(子どもの居場所サードプレイス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水曜日は小学校が早帰りになる。できれば常時開設したい。 ・学校側からも定期的な開設の要望があったが、お金と場所の問題がある。 <p>→今後、検討していきたい。</p>	<p>(地域の茶の間(まちセン、各町内))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の茶の間では、講師を探すのに苦労しながらがんばっている。 	
取組んでみて	<p>1明るく元気な地域づくり</p> <p>(移動支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者クラブでも運転ボランティア、付き添いボランティアに関わっている。 ・取り組みも地域に定着してきており、 	<p>2安全で安心な地域づくり</p> <p>(子どもの居場所サードプレイス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所として、20~30名の参加がある。周知することで人数も増えてきている。 ・勉強にも使われている。 	<p>3健康で豊かな地域づくり</p> <p>(地域の茶の間(まちセン、各町内))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定着した開催ができているが、参加者が減ってきているところもある。 ・学生ボランティアを受け入れるなどして変化をつけたい。 	<p>4相談しやすい体制づくり</p> <p>(コミ協だより、まちセン通信の発行)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミ協だよりは年3回発行している。(包括支援センターとの関わり) ・小須戸地区からの相談件数は非常に多い。

<p>の 評 価</p>	<p>利用を促す声かけも有効である。新規の利用にもつながった。 ・移動支援は非常に喜ばれている。(地域お手伝い隊会議、実施) ・ワークセンターほほえみと協力して草刈りを行っている。 ・施設としては活動を通じて、地域住民から利用者を知ってもらえるので非常にありがたい。 →施設との協力関係も継続する(食育と世代間交流事業) ・移住体験農園で収穫した野菜を活用して、食育を通じた親子料理教室を行っている。継続して開催していきたい。</p>	<p>・子どもの楽しめる企画を考えた。次回は中学生向けの工夫をしたい。(歳末見守り事業打ち合わせ、訪問) ・中学生の福祉教育の場にもなっている。 ・中学生と一緒に見守り訪問する中で、「地域との交流が大切である」と会話も生まれた。また、訪問を通して、中学生の様々な気づきが素晴らしかった。</p>	<p>・第2の茶の間として、アルコールを持ち寄って開催している。男性25名程度の参加者。女性利用者からつまみを作ってもらい好評だった。 →男性参加者を呼び込む工夫 ・圏域を越えた麻雀大会もよい。(ほっとカフェ、まちセンマルシエ) ・利用者は非常に多い。 →通うことで介護予防にもつながっている。(ひな・町屋めぐり) ・つるしびなを老人クラブと子どもたちと一緒に作成した。 →高齢者には好評だった(地域での取り組み) ・水田高齢者クラブでは子ども会と一緒にラジオ体操を実施している。 →多世代交流になり、高齢者の介護予防にもつながっている ・百寿会では公園トイレ掃除等の地域活動を積極的に参加するようにしている。常に清潔を保ち、好評である。</p>	<p>・地域の茶の間でも包括として講話(健康や詐欺被害防止等)を実施している。 ・実態把握のために、訪問に取り組み、引き続きニーズの発掘を行いたい。</p>																										
<p>5 年 間 の 評 価</p>	 <table border="1"> <tr><th>Category</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>A</td><td>92%</td></tr> <tr><td>B</td><td>8%</td></tr> </table>	Category	Percentage	A	92%	B	8%	 <table border="1"> <tr><th>Category</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>A</td><td>75%</td></tr> <tr><td>B</td><td>17%</td></tr> <tr><td>C</td><td>8%</td></tr> </table>	Category	Percentage	A	75%	B	17%	C	8%	 <table border="1"> <tr><th>Category</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>A</td><td>58%</td></tr> <tr><td>B</td><td>42%</td></tr> </table>	Category	Percentage	A	58%	B	42%	 <table border="1"> <tr><th>Category</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>A</td><td>50%</td></tr> <tr><td>B</td><td>50%</td></tr> </table>	Category	Percentage	A	50%	B	50%
Category	Percentage																													
A	92%																													
B	8%																													
Category	Percentage																													
A	75%																													
B	17%																													
C	8%																													
Category	Percentage																													
A	58%																													
B	42%																													
Category	Percentage																													
A	50%																													
B	50%																													
<p>各基本目標に向け、計画書に書かれていることに取組んだかどうかで評価し、懇談会に参加した地域の皆さんがお一人ずつ評価してくださいました。 A=80%以上取組めた(新規活動や既存活動の工夫を行った) B=50%の取組み(既存の取組みの継続) C=30%の取組み(道半ば・やめてしまった)D=全く取組みなかった ※グラフは、評価をつけた方の人数の割合です。</p>																														

(組織体制・地域運営の課題)

- ・自治会、町内会の再編。・取り組みを行おうとしても事務局がない。予算をつけて組織を整えたい。
- ・防災に関して、いざというときのための学習はできてきた。ボランティアでは対応できない現状がある。今後の取り組みの課題である。
- ・地域では困っていると自分から声をあげられない人もいる。

まとめ:

自治会の再編や事務局機能の不足など、地域運営の基盤が脆弱である。防災対応や困りごとの把握にも限界があり、活動を担う組織体制の整備と予算づけが必要である。

(交通・移動支援の課題)

- ・地域での交通事情、移動支援。・福祉と公共交通は別々に考えずに一緒に検討していく。
- ・移動支援では、現在行っている買い物支援(旧緑花園の協力)があるが、もっと大きなしくみでの取り組みが必要である。

まとめ:

既存の買い物支援だけでは地域の移動の課題は解決できない。福祉と公共交通を一体的に考えた広域的かつ持続的な移動支援体制の構築が必要である。

(地域活性化・居場所づくり・健康づくり)

- ・地域活性化、イベントの実施。・子どもが自分の意志で遊びに行ける居場所があるとよい。
- ・児童館にかわるようなものがあるとよい。そのためにも地域にも必要な人員と予算をつけてほしい。
- ・麻雀クラブがあると男性の参加者が増えるのではないか。・介護予防の体操教室にはコミ協も協力できる。

まとめ:

子どもから高齢者までが参加できる多様な居場所づくりと交流の機会の拡充が求められる。そこには、子どもの居場所機能の拡充、男性が参加しやすい活動の創出など、世代を超えた地域活性化が必要である。

[参加者]

小須戸コミ協:木村会長、佐藤副会長(事務局長) 福祉部会:長澤部会長、田中副部長、 地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員:土屋委員、
地域の茶の間・高齢者クラブ:米田様(小向の茶の間)、高井様(水田高齢者クラブ)、風間様、山田様(百寿会)、ワークセンターほほえみ:又地施設長、
包括こすど:小出センター長、加藤、秋葉区社協:秋山事務局長補佐、出口(地区担当)、岡村(支え合いのしくみづくり推進員)